

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。
弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

■新規受託項目

- [-] Y染色体微小欠失(AZF欠失)
※検査要項の詳細は裏面をご確認ください。

■受託開始日

- 2022年7月25日(月)

以上

Y 染色体微小欠失 (AZF 欠失)

男性不妊の診断の補助と治療方針決定に使用する検査です。

男性不妊の原因の一つとして、Y 染色体上の無精子症因子 (Azoospermia factor: AZF 領域) の微小欠失が確認されています。

その欠失パターンは、AZFa 欠失、AZFb 欠失、AZFc 欠失などに細分化され、欠失する領域により症状が異なると報告されています。AZFc 欠失や、日本人男性の約 1/3 に認められる AZFc 部分欠失 (gr/gr) の場合は、顕微鏡下精巣内精子採取術 (micro-TESE) による精子採取が期待できると考えられています。欠失部位を特定することにより、男性不妊の診断の補助と顕微授精などの治療方針決定に役立つことが期待されています。

■検査要項

項目コード	-
検査項目名	Y 染色体微小欠失 (AZF 欠失) 倫理指針対象
検体量	血液 2.0 mL (容器番号: 14)
保存方法 (安定性)	冷蔵 (3 日)
検査方法	PCR-rSSO 法
基準値	-
報告形式	【親展報告】 AZF 領域の欠失のパターンをご報告いたします。(下表参照)
所要日数	5~11 日
検査実施料	3770 点 ^{*1, 2, 3} (「D006-28」Y 染色体微小欠失検査)
判断料	100 点 (遺伝子関連・染色体検査判断料)
備考	・凍結保存は避けてください。 ・本検査は、Y 染色体微小欠失を検出する、男性を対象とした検査です。 ・他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
検査委託先	エスアールエル (→5)

*1: 精巣内精子採取術の適応の判断を目的として実施した場合に患者 1 人につき 1 回に限り算定する。なお、本検査を実施する医学的な理由を診療録に記載すること。

*2: 次のいずれかの施設基準の届出を行った保険医療機関であること。
ア 生殖補助医療管理料の生殖補助医療管理料 1 又は 2 のいずれか
イ 精巣内精子採取術

*3: 遺伝カウンセリング加算の施設基準に係る届出を行っている、又は当該基準の届出を行っている他の保険医療機関との間の連携体制が整備されていることが望ましい。

Y 染色体微小欠失 (AZF 欠失) の主な欠失部位

検出対象となる主な欠失*	AZFa 欠失
	AZFb 欠失
	AZFb+c 欠失
	AZFc 欠失

※ その他 Y 染色体上の微小欠失が検出される場合もございます。
※ 臨床的意義不明の欠失が認められた場合は、判定不能とご報告いたします。
※ AZFc 部分欠失 (gr/gr) は、日本人男性の約 1/3 に認められます。

▼Y 染色体微小欠失 (AZF 欠失) の報告パターン

AZFa 欠失	Y 染色体欠失	AZFc 部分欠失 (gr/gr)
AZFb 欠失 (P5/proximal P1)	Y 染色体長腕欠失	判定不能
AZFb+c 欠失 (P5/distal P1)	Y 染色体長腕部分欠失 I	検査対象欠失なし
AZFc 欠失 (b2/b4)	Y 染色体長腕部分欠失 II	
	Y 染色体長腕部分欠失 III	
	Y 染色体長腕部分欠失 IV	
	Y 染色体長腕部分欠失 V	
	Y 染色体長腕部分欠失 VI	

■参考文献

Masashi Iijima, et al: Int J Urol. 21(9):910~916, 2014. (検査方法参考文献)
高 栄哲, 他: J. Mamm. Ova Res. 30(4):135~144, 2013. (臨床的意義参考文献)